

陸稲の収穫祭&雑穀のおやつでお茶に

すんべえ

白米よりも歴史がある陸稲。現在田んぼで育っている米も元々陸稲を改良して作られたものなんです！

日時

2018年10月20日(土) 09:30 - 15:00

場所

上元郷地区の畑

このツアーについて

水田がない山間地では、白米は贅沢品とされていた戦前の暮らし。現在では安く白米が流通しており、そのありがたみを感じる機会も減っています。

そんな白米への憧れからか、畑で育てる陸稲が栽培された地域があります。実は、白米よりも歴史がある陸稲。現在田んぼで育っている米も元々陸稲を改良して作られたものなんです！

でも、実際に米が畑で育つ姿を見たことがない人からするとなかなか実感が湧かないですよ。

東京都の山奥、檜原村では昔から麦を中心に、米以外の穀物は自給してきています。

その中でも陸稲は歴史的には一時期だけ栽培されており、できたものはもちにしたり、正月飾りに使われていました。

スケジュール

～9:00 五日市駅集合（タクシーにて移動）

10:00～ 収穫開始

12:00 昼ご飯

13:30～ ハゼ掛け

14:00～ タクシーにて移動

収穫したお米は、今回は栽培した量が少ないため、収量に応じて参加者の方に後ほど送ります（一回使い切り 1kg～程度）。

白いカボチャ、ホモロコシ（タカキビ）を使った料理、時期が合えば檜原村在来のトウモロコシの収穫や夏野菜の残りも食べられます。

そんな山村の憧れの陸稲の種もみをいただき、5月に種まきしたのをきっかけに、現在まで発芽して育った陸稲を収穫して最後の利用までを楽しむイベント、収穫祭です！

料金

¥5,700（ジャンボタクシーにて9名利用の場合）

¥6,500（普通タクシーにて4名利用の場合）

※参加人数によって料金が異なります。